

患者の立場から医療を考える場 「パシエントサロン」の挑戦

スピーカー：石原八重子（パシエントサロン協会/Fabry NEXT）

日時：2021年1月22日（金） 18:30～20:00

場所：オンライン（Zoomミーティング利用）

参加費：BiPH会員500円、非会員1,000円

申込みは以下から

<http://plaza.umin.ac.jp/biph/study/1321/>

めざすは“患者協働の医療”。患者と医療者の心の距離を近づけたいという思いから生まれたのがパシエントサロンです。現在では全国各地に広がり、愛知県でも毎月開催されています。

そこで、今回は、パシエントサロン名古屋を主宰する石原さんをお招きし、立ち上げの経緯や現在の活動、そして今後に向けての思いをお聞きします。

まだまだ続くコロナ禍の今、住みたい場所で誰もが安心して暮らすために、私達ができることを共に考える時間にしたいと思います。どうぞご参加下さい。



（左から4人目が石原さん）

石原さんからのメッセージ：

自分がファブリー病という難病だとわかったのは2009年。その時、「病気のことは主治医と相談して治療すればよい」と思っていました。でも、言いたいことを主治医に言えていないと後になって気づきます。

今回の勉強会では、パシエントサロン名古屋の活動をご紹介します。対話を重ねることで変化してきた私の考えや行動をお話します。病気があってもなくても安心して暮らすためにできることは何か、考える機会になれば幸いです。

【お問い合わせ】

一般社団法人Bridges in Public Health事務局
〒467-0027 名古屋市瑞穂区田辺通1丁目22-2
TEL: 052-846-5878

Mail: biph-adm@umin.ac.jp

URL: <http://plaza.umin.ac.jp/biph>

FB: www.facebook.com/biph.adm



BiPH
Bridges in
Public Health